

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10222566 A

(43) Date of publication of application: 21 . 08 . 98

(51) Int. CI

G06F 17/60
// G07G 1/14

(21) Application number: 09022416

(71) Applicant: FUJI ELECTRIC CO LTD

(22) Date of filing: 05 . 02 . 97

(72) Inventor: NAKAMURA MASAAKI
MURAKAMI HIROMU

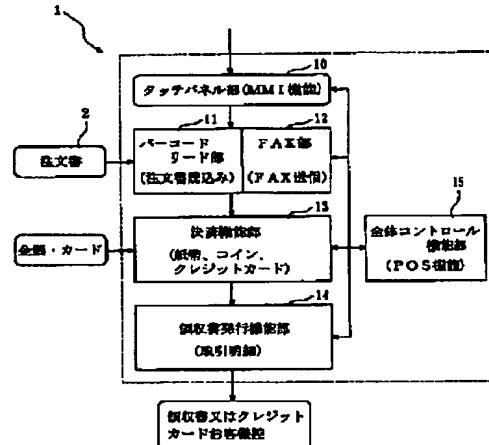
(54) AUTOMATIC ORDERING MACHINE

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a user to conveniently use this device in a short time, and to save the processing load of a center by operating the propaganda advertisement, ordering, and settlement of accounts of merchandise based on one order form in which each prescribed information is described, and automatically transmitting this order form to a subscribing trader being the direct destination of order.

SOLUTION: This device is constituted of a touch panel part 10 having a function as an interface with a user, bar code read part 11, settling function part 13, FAX part 12, and overall control function part 15 for controlling each part. The bar code read part 11 reads information from the bar code of an order form 2 selected, described, and inserted by the user. The overall control function part 15 displays the information on the screen of the touch panel part 10, and the settling function part 13 operates the settlement of accounts based on the information and money or a card inputted by the user. The FAX part 12 automatically transmits the order form 2 through a telephone line to a direct subscribing trader based on the information.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-222566

(43)公開日 平成10年(1998)8月21日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 17/60
// G 0 7 G 1/14

識別記号

F I
G 0 6 F 15/21 3 3 0
G 0 7 G 1/14
G 0 6 F 15/21 3 1 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 6 頁)

(21)出願番号

特願平9-22416

(22)出願日

平成9年(1997)2月5日

(71)出願人 000005234

富士電機株式会社

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

(72)発明者 中村 雅昭

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

富士電機株式会社内

(72)発明者 村上 博武

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

富士電機株式会社内

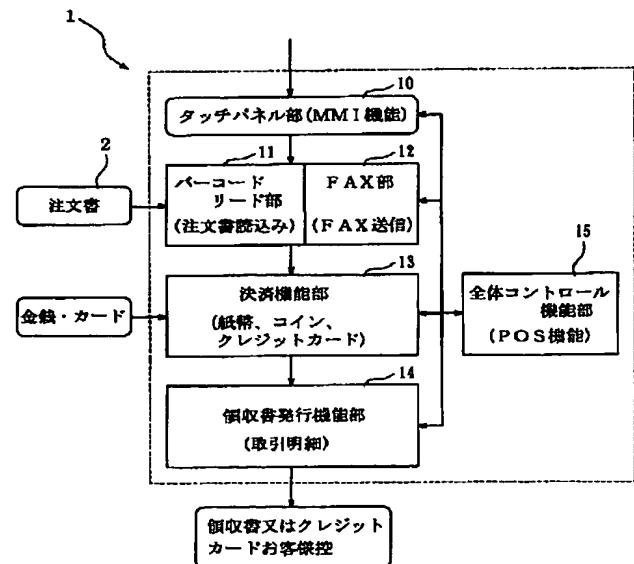
(74)代理人 弁理士 森田 雄一

(54)【発明の名称】 自動注文機

(57)【要約】

【課題】 従来の無店舗販売システムの端末装置では、商品の選択などの情報をキーボードにより入力しなければならず、また利用者自らがファクシミリを操作しなければならず、煩雑であり、より簡便なシステムが望まれていた。

【解決手段】 本発明の自動注文機は、利用者とのインターフェイスとしての機能を有するタッチパネル部と、バーコードリード部と、決済機能部と、FAX部と、前記各部の制御を行う全体コントロール機能部とを含み、前記バーコードリード部は、利用者が選択し、記載し、挿入した注文書のうちバーコードから情報を読み取り、前記全体コントロール機能部は当該情報をタッチパネル部の画面に表示し、前記決済機能部は上記情報と利用者が投入した金銭またはカードに基づいて決済を行い、前記FAX部は上記情報に基づいて自動的に上記注文書を直接加入業者に電話回線を介して送付することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者とのインターフェイスとしての機能を有するタッチパネル部と、バーコードリード部と、決済機能部と、FAX部と、前記各部の制御を行う全体コントロール機能部とを含む自動注文機において、前記バーコードリード部は、利用者が選択し、記載し、挿入した注文書のうちバーコードから情報を読み取り、前記全体コントロール機能部は当該情報をタッチパネル部の画面に表示し、前記決済機能部は上記情報を利用者が投入した金銭またはカードに基づいて決済を行い、前記FAX部は上記情報に基づいて自動的に上記注文書を直接加入業者に電話回線を介して送付することを特徴とする自動注文機。

【請求項2】 請求項1記載の自動注文機において、前記コントロール機能部は、前記バーコードから読みとった情報をまとめ、一定期間蓄積し、POS情報としてセンタに伝送することを特徴とする自動注文機。

【請求項3】 請求項1または2記載の自動注文機において、前記注文書は宣伝広告機能を有し、かつ前記注文書のバーコードの情報には、利用者が指定する注文内容が含まれることを特徴とする自動注文機。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、所定の注文書により商品の購入及び配送等の予約手続きを行う無店舗販売システムにおける自動注文機に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の無店舗販売システムの端末装置としては、例えば特開平1-236356号公報に記載されたものがある。すなわち、従来の無店舗販売システムの端末装置では、利用者が端末装置のキーボードにより入力した商品購入手続き情報を、予め当該端末機内部に用意されている伝票にプリンタ装置により印字、発行し、利用者が当該発行された伝票に商品発送先などの所定事項を記入した後、ファクシミリを操作して当該伝票をシステムセンタへ送信していた。そして、システムセンタでは受信した伝票の写しを基に商品の発送処理を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の無店舗販売システムの端末装置は、以下の不都合を有していた。商品の選択、購入個数等の商品購入手続き情報をキーボードにより入力するため、利用者一人あたりの端末装置の占有時間が長くなり、多くの利用者が端末装置を有效地に利用することができなかつた。特に、多数の人が集まる場所に端末装置を設置する場合には、利用者一人当たりの端末装置の占有時間を短くし、多くの人が簡単に利用できるシステムとする必要がある。利用者がお年寄りである場合には、一般にキーボードの操作は容

易ではないため、より簡便な方法が望まれていた。さらに、利用者自らが、ファクシミリを操作しなければならず、煩雑であった。また、システムセンタは伝票の写しを基に商品の発送処理を行っていたが、発送処理が煩雑であり、人件費もかかっていた。

【0004】 そこで本発明は、利用者が簡便に、かつ短時間で利用することができ、システムセンタの処理負担を軽減することができる自動注文機を提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記課題を解決するため、請求項1記載の発明は、利用者とのインターフェイスとしての機能を有するタッチパネル部と、バーコードリード部と、決済機能部と、FAX部と、前記各部の制御を行う全体コントロール機能部とを含む自動注文機において、前記バーコードリード部は、利用者が選択し、記載し、挿入した注文書のうちバーコードから情報を読み取り、前記全体コントロール機能部は当該情報をタッチパネル部の画面に表示し、前記決済機能部は上記情報と利用者が投入した金銭またはカードに基づいて決済を行い、前記FAX部は上記情報に基づいて自動的に上記注文書を直接加入業者に電話回線を介して送付することを特徴とする。

【0006】 請求項2記載の発明は、請求項1記載の自動注文機において、前記コントロール機能部は、前記バーコードから読みとった情報をまとめ、一定期間蓄積し、POS情報としてセンタに伝送することを特徴とする。

【0007】 請求項3記載の発明は、請求項1または2記載の自動注文機において、前記注文書は宣伝広告機能を有し、かつ前記注文書のバーコードの情報には、利用者が指定する注文内容が含まれることを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、図に沿って、本発明の自動注文機を郵便局に設置する場合の実施形態について説明する。図1は、実施形態の構成図である。実施形態は、自動注文機1と、利用者が所定の事項を記入したのち、自動注文機に挿入する注文書2と、前記自動注文機1からいわゆるPOS情報を吸い上げるセンタ3とを備える。自動注文機1は、所定の処理、確認手続き等を行った後、注文書2を加入小売り業者にファクシミリにより電話回線を介して送付する。そして、加入小売り業者は、注文書2により指定された商品を届け先に配達する。図中の「カード」、「現金」は、利用者の料金支払い方法を示し、「受領書」は利用者が料金を支払った後、自動注文機1から領収書が発行されることを示している。なお、図中自動注文機1は1台のみ表示されているが、これに限られるものではなく、設置箇所は全国のどこでもよく、また一箇所に複数台設置することも可能である。

【0009】図2は、本実施形態の自動注文機1の構成図である。自動注文機1は、マンマシンインターフェイス機能(MMI機能)を有するタッチパネル部10と、注文書2のバーコードを読み込むバーコードリード部11と、注文書2を電話回線を介して加入小売り業者、またはセンタ3に送付するFAX部12と、利用者が本自動注文機1に投入した金銭(紙幣、コイン)、カードにより決済を行う決済機能部13と、前記決済が正当に行われた場合に利用者に対して取引明細を含む領収書を発行する領収書発行機能部14と、前述した全ての構成部10、11、12、13、14を統括し、制御し、さらにPOS情報をセンタ3等に送信する機能も有する全体コントロール機能部15とから構成される。

【0010】図3は本実施形態の処理フローを自動注文機1を中心として示した流れ図である。利用者は、ステップg1において、商品ごとに区分された注文書2を選択する。なお、注文書2の内容については、後述する。利用者は、ステップg2において、所定の事項、例えば商品の配達先等の記入や選択した商品、個数等を示すバーコードへのマーク付けを記載する。利用者は、ステップg3において、自動注文機1のタッチパネル部10に設けられた画面にタッチする。すると、前記画面は待機画面(ステップs1)を切替え、所定事項を表示する(ステップs2)。利用者は、前記注文書2を自動注文機1の挿入口に挿入する(ステップg4及びステップs3)。

【0011】自動販売機1は、ステップs4において、注文書2のバーコードを読み取り(バーコードリード部11により行われる)、記入方法、内容に不備が無いかどうかを確認し、不備があれば、ステップs5において注文書2を利用者に返却し、不備がなければ、ステップs6において、注文書の内容を画面に表示する。この内容には、商品名、数量、合計金額などが含まれる。利用者は、ステップg5において、注文書2の内容を画面で確認する。自動注文機1は、ステップs7において、画面に決済方法を表示する。利用者は、ステップg6において、料金を支払う。

【0012】自動注文機1の決済機能部13は、ステップs8において、投入された現金またはクレジットカードの確認を行う。支払い方法が現金の場合には、金額を確認した後、領収書を発行する(ステップs9、s10)。利用者は、ステップg7において、当該領収書を受け取る。支払い方法がクレジットカードの場合には、自動注文機1は、クレジットカードを確認した後(ステップs11)、クレジットカードを利用者に返却し(ステップs13)、ステップs14において「お客様控え」を発行する。もし、クレジットカードが有効ではない場合には、画面にクレジットカードが無効である旨を表示し(ステップs12)、ステップs13において利用者に返却する。利用者は、クレジットカード、「お客様

様控え」を受け取る(それぞれステップg8、ステップg9)。

【0013】自動注文機1のFAX部12は、ステップs15において、注文書2をバーコードにより指定された加入小売り業者へファクシミリにより電話回線を介して送付する。なお、上記処理は全て自動的に行われる。また、ステップs15において、注文書2をセンタ3にファクシミリにより送付する場合もある。

【0014】自動注文機1の全体コントロール機能部15は、ステップs16において、注文内容、日時などのデータを自動注文機1内部に設けられたメモリーに記憶する。さらに、全体コントロール機能部15は、上記データを一定時間ごと(たとえば、毎日23時)に集計し、POS情報をセンタ3等に電話回線等を介して送付する(これを締め作業という)。

【0015】図4は、本実施形態の構成要素である注文書2の実施例である。注文書2は、商品番号、商品名、内容、送付方法等により区分され、代金が明示されている商品説明部21と、利用者が配達先、依頼主等を手書きで記載する記述欄22と、バーコード23が表示されている。なお、注文書2には、商品名のみでなく、商品の写真等の宣伝広告のための情報を表示することも可能である。

【0016】利用者は、希望する注文書2を選択し、希望する商品番号、個数などに対応するバーコードにマーク付けをする。図4においては、バーコードに斜線を記入するようになっているが、これに限られるものではなく、例えば、選択可能な各バーコードの右側に正方形の欄を設け、その中を鉛筆で塗りつぶす等のいわゆるマークシートの方法でもかまわない。そして、利用者は、前記記述欄22に、お届け先住所、氏名、電話番号、依頼主住所、氏名、電話番号などの所定の事項を手書きで記入し、上述したように自動注文機1の所定の場所に挿入する。他のバーコードには、利用者が選択する商品番号、購入個数等の内容のみでなく、例えば、商品の大分類、実際に商品を販売、配達を担当する加入小売り業者のファックス番号、口座等の情報も含まれている。この情報をもとに、FAX部12は、注文書2を指定された加入小売り業者に自動的に送付する。

【0017】この注文書2は、商品カタログ、宣伝広告のチラシも兼ねており、例えば、小冊子としてまとめられて人の集まる場所に置かれたり、若しくは宣伝広告用の棚に置かれたり、または自動注文機1に設けられた棚に置かれ、利用者が縦覧できるようになっている。

【0018】次に、自動注文機1のうち全体コントロール機能部15(図2参照)が有するPOS機能について説明する。自動注文機1は、センタ3にオンラインで接続されている。センタとの間では、RS232Cインターフェイスによるモジュールを介した一般電話回線または無線方式が利用され、窓口処理システムとはイーサネット

等のLANが利用される。POS情報には、自動注文機1の機械ナンバー、受付毎個数、受付毎金額、取引時間、釣り銭の情報、故障情報、無効クレジットカードの情報、注文書2またはお客様控えの用紙切れの予告アラームなどの情報が含まれる。全体コントロール機能部15が、センタ3等にPOS情報を伝送する時間は、故障若しくは用紙切れの予告アラームの発生時点、指定時間、または窓口処理システムからの要求時である。また、全体コントロール機能部15は、最新3日間の全データを常時蓄える機能も有する。これは、窓口処理システムが作動していないとき、または故障したときにも対処できるようにするためである。

【0019】さらに、自動注文機1は、外国人に対応できる機能、障害者に対応できる機能を有する。外国人対応機能としては、画面表示の文字を、初期画面のタッチパネル操作により日本語から英語に切替可能とすること等がある。また、タッチパネル操作以外で利用者の操作が必要な箇所（例えば現金投入口）は、わかりやすい絵、または日本語と英語の併記により対応することができる。

【0020】障害者対応機能としては、音声発生装置を自動注文機1に内蔵し、音声により操作手順を案内すること等がある。さらに、種別選択のための点字リモートボックスを設置し、現金投入口等には、点字案内を設け対応することができる。

【0021】図5は、自動注文機1の外観図である。図において、31は硬貨投入口、32は返却レバー、33は紙幣挿入口、34は注文書2の挿入部、35はカードの挿入口、36は受領書若しくはお客様控え発行口、37はおつり取り出し口である。

【0022】

【発明の効果】以上のように請求項1、2、3記載の発明によれば、宣伝広告、商品の選択、注文先、配達先の特定、発注者の特定等の情報が記載された一枚の注文書に基づいて、商品の宣伝広告、注文、決済が行われ、前記注文書が直接注文先である加入業者に自動的に送付されるため、利用者が簡単に、かつ短時間で利用すること*

*ができる。さらに、センタは伝票の写しをもとに商品の発送処理を行う必要がないため、センタの処理負担が軽減され、人件費を削減することができる。

【0023】請求項2記載の発明によれば、センタはPOS情報の一括管理ができ、自動注文機の故障などに迅速に対処することができる。

【0024】請求項3記載の発明によれば、利用者の誤記などが少なくなるため、信頼性のある無店舗販売システムを提供することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【図1】無店舗販売システムの構成図である。

【図2】自動注文機の構成図である。

【図3】実施形態の処理フローを自動注文機を中心として示した流れ図である。

【図4】注文書の実施例を示した図である。

【図5】自動注文機の外観図である。

【符号の説明】

1 自動注文機

2 注文書

20 3 センタ

10 タッチパネル部

11 バーコードリード部

12 FAX部

13 決済機能部

14 領収書発行機能部

15 全体コントロール機能部

21 商品説明部

22 記述欄

23 バーコード

30 31 硬貨投入口

32 返却レバー

33 紙幣挿入口

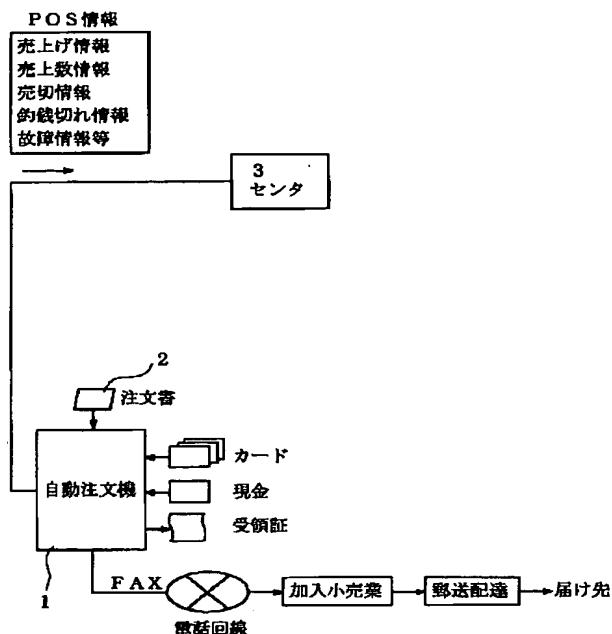
34 注文書挿入部

35 カード挿入部

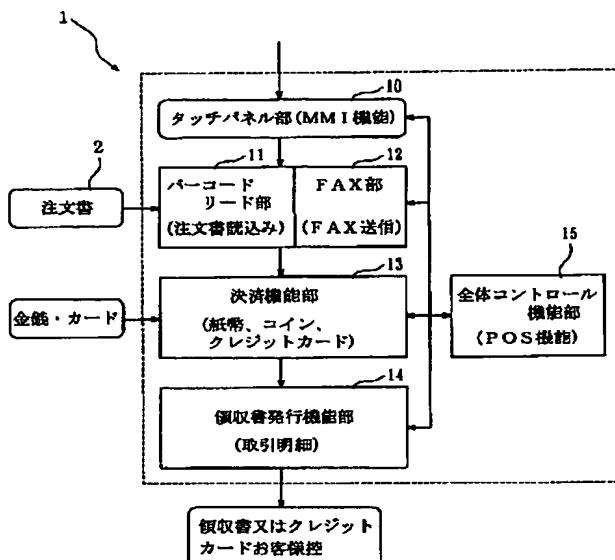
36 受領書、お客様控え発行口

37 おつり取り出し口

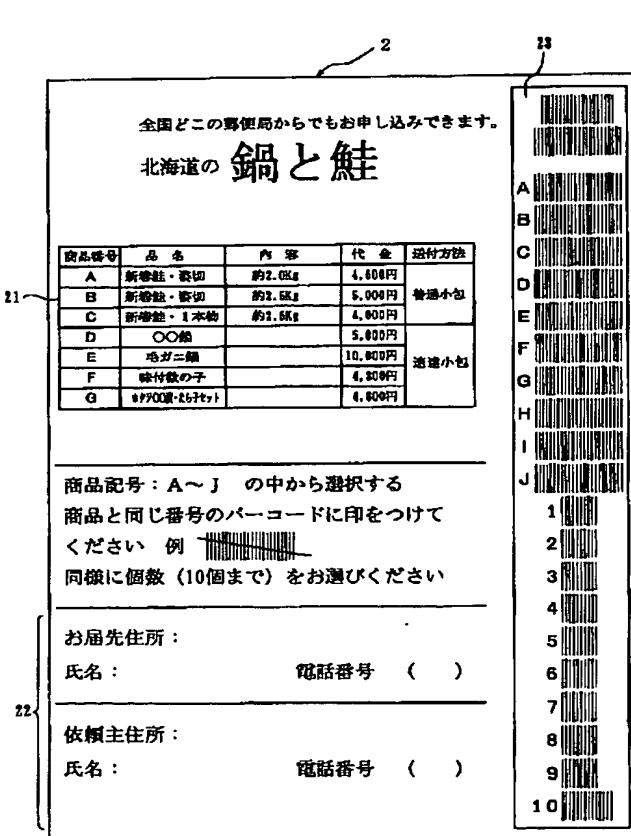
【図1】



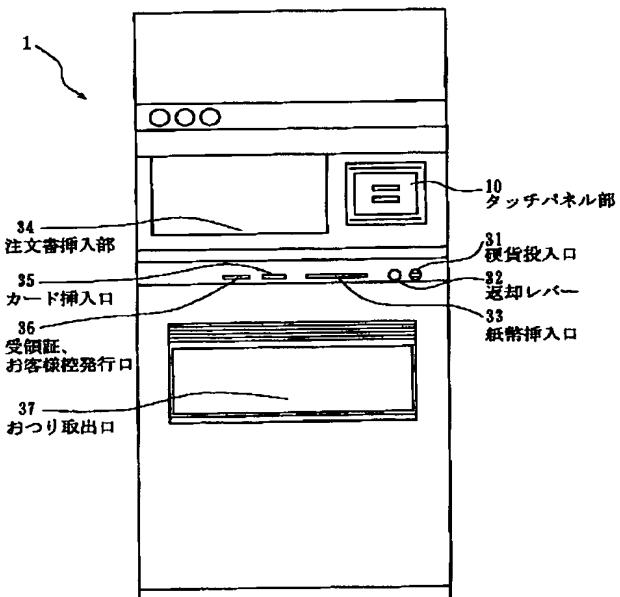
【図2】



【図4】



【図5】



【図3】

